

写真界の次世代を担う若手を発掘する

第19回 写真「1_WALL」展

2018年9月26日[水]ー10月19日[金]

11:00ー19:00 入場無料 日曜・祝日休館

公開最終審査会

2018年10月12日[金] 18:00ー21:00

※予約制：9月12日[水]から受付開始。詳細はWEBでご確認ください。

(当日17:30ー18:00は審査のため、ギャラリーにお入りいただけません。)

ガーディアン・ガーデンでは、個展開催の権利をかけた公募展、第19回写真「1_WALL」展を開催します。本展は、ポートフォリオ審査による一次審査と、一対一で審査員と対話をする二次審査を通過したファイナリスト6名が、一人一壁面を使って作品を発表するグループ展です。会期中の10月12日(金)には、一般見学者にも公開される最終審査会を開催します。ファイナリストによるプレゼンテーションの後、審査員による議論を経て、グランプリが決定します。グランプリ受賞者には、1年後の個展開催の権利、個展制作費20万円が贈られます。

日々変化する海に日常の次々と起こる出来事を重ね合わせ、撮影し続けた植田真紗美。新聞を素材にして、毎日1点、自室内で作品を完成させるH/N。見過ごしてしまうような風景を撮影する幸本紗奈。石油の枯渇と共に廃れていった故郷を大判カメラで撮影した田凱。1つの窓を境に、内と外の日々の光景を撮影する原麻里子。性別の曖昧さをポートレートで表現する円井テトラ。今回の「1_WALL」展は、以上6名によるグループ展示です。



[審査員] 五十音順・敬称略



沢山遼 Ryo Sawayama | 美術批評家

1982年生まれ。2007年、武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程修了。2010年「レイバー・ワークーカール・アンドレにおける制作の概念」で『美術手帖』第14回芸術評論募集第一席。武蔵野美術大学、首都大学東京等非常勤講師。論文や雑誌などへの寄稿多数。



鈴木理策 Risaku Suzuki | 写真家

1963年和歌山県新宮市生まれ。2000年に写真集『PILES OF TIME』で第25回木村伊兵衛写真賞受賞。近著に『Water Mirror』(Case Publishing/日本芸術写真協会)、『SAKURA』(edition nord)、『Étude』(SUPER LABO)。『海と山のあいだ』(amanasalto)、『意識の流れ』(edition nord)、『Atelier of Cézanne』(Nazraeli Press)等。



田中義久 Yoshihisa Tanaka | グラフィックデザイナー/美術家

1980年生まれ。主な仕事に東京都写真美術館をはじめとした文化施設のVI計画、ブックショップ「POST」、『The Tokyo Art Book Fair』などのアートディレクションや、アーティストの作品集制作も定期的に行なっている。飯田竜太(彫刻家)とのアーティストデュオ「Nerhol」としても活動。



姫野希美 Kimi Himeno | 赤々舎代表取締役/ディレクター

2006年に赤々舎を設立。写真集、美術書を中心に150冊余りの書籍を刊行。第33回木村伊兵衛写真賞の志賀理江子『CANARY』、岡田敦『I am』、第34回同賞の浅田政志『浅田家』、第35回同賞の高木こずえ『MD』『GROUND』、第38回同賞の百々新『対岸』、第40回同賞の石川竜一『絶景のポートフォニー』、『okinawan portraits 2010-2012』、第43回同賞の藤岡亜弥『川はゆく』などがある。2018年より大阪芸術大学教授。



増田玲 Rei Masuda | 東京国立近代美術館主任研究員

1968年神戸市生まれ。筑波大学大学院地域研究研究科修了。1992年より東京国立近代美術館に勤務。近年担当した主な展覧会に「ジョセフ・クーデルカ展」(2013年)、「奈良原一高 王国」(2014年)、「トーマス・スルフ展」(2016年)など。

[「1_WALL」審査の流れ]



01. [一次審査] ポートフォリオ審査

ポートフォリオによる審査で30名を選出。

02. [二次審査] ポートフォリオレビュー

ポートフォリオを介して審査員と一対一で対話。6名を選出。

03. [「1_WALL」展]

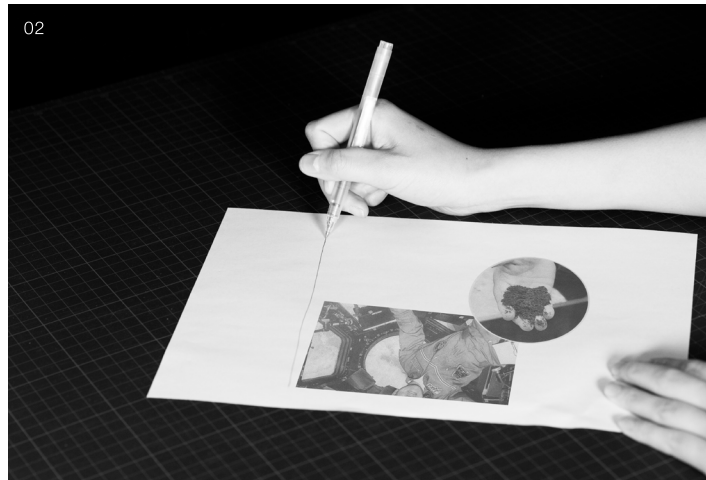
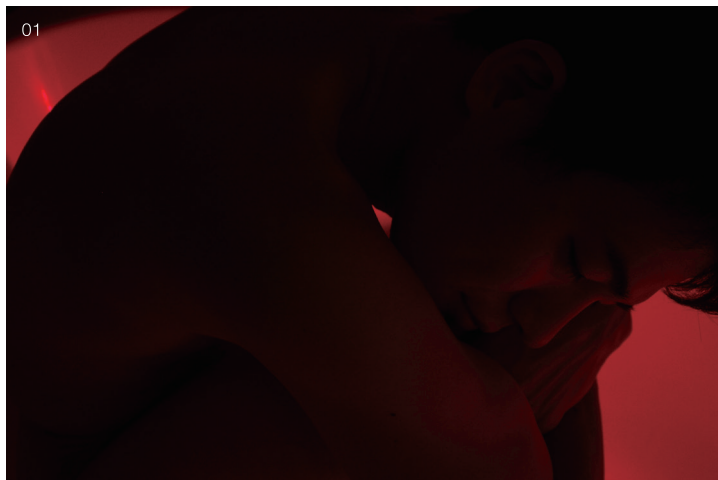
二次審査を通過した6名によるグループ展。

04. [公開最終審査]

「1_WALL」展会期中に、グランプリを決定する最終審査会を公開で開催。

05. [グランプリ個展]

1年の制作期間を経て、ガーディアン・ガーデンで個展を開催。



「出品作家」
五十音順・敬称略

01
植田真紗美 Masami Ueda
――
玉川大学文学部リベラルアーツ学科、日本写真芸術専門学校卒業。
「海へ」
想像することで現実を昇華した。これは「生」への物語。

04
田凱 Gai Den
――
1984年生まれ。日本写真芸術専門学校卒業。
「生きてそこにいて」
この空っぽな町が、私の記憶の始まりだった。物事には終りがあると幼い日の記憶に刻んだ。同じ場所で生まれ育った人たちの様子を撮影し、多義的ノスタルジーは彼らの顔にも映る。

02
H/N
――
1984年生まれ。
「PRIVATE VOYAGER」
日課にしている新聞の切り抜き作業から生まれたシリーズを発表します。

05
原麻里子 Mariko Hara
――
東京造形大学造形学部デザイン学科卒業。
「picture window」
内と外の流れゆく光景 自然 環境 領域 希望 家族 そのままでいることは難しい 窓を目に その瞬間を見る

03
幸本紗奈 Sana Kohmoto
――
1990年生まれ。武蔵野美術大学映像学科卒業。
「遠い部屋、見えない都市へ」
所属せぬひと・到着者であり続けるための反復運動。よくわからない物事はいつでもある種の予感を含んでいる。遠い声、目配せに答えるように、沈黙の世界を構築する。

06
円井テトラ Tetra Marui
――
東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現領域博士後期課程修了。
「あなたとわたし」
人間の性には段階的な変化や濃淡があり、相手や状況により微妙に揺らぐ。
人間同士の関係を最小単位まで落としこむことで1対1の「あなたとわたし」という形になった。

Guardian Garden RECRUIT

株式会社リクルートホールディングス
リクルートクリエイティブセンター
ガーディアン・ガーデン
お問い合わせ先！
山越梓 a_yamakoshi@r.recruit.co.jp
〒104-8227 東京都中央区銀座7-3-5
ヒューリック銀座7丁目ビルB1F
TEL | 03-3211-6526
FAX | 03-3575-7077
WEB | <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>
Twitter | @guardiangarden
Facebook | facebook.com/guardiangarden.tokyo
Instagram | guardian_garden